

事例 8 学級活動（3）一人一人のキャリア形成と自己実現

「ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用」の事例

○学年 第3学年

○主な内容 自らの進路実現を目指し、よりよい学び方を考えられるようにする指導

○事例のポイント

- ①生徒が自らの学び方を振り返るために、キャリア・パスポートを活用する。
- ②豊富な解決策を共有し、他者の考えと自分の考えを比較するなどして、考えを深め、よりよい方法を見つけ出す機会とする。
- ③多様な考えを共有するため、学習場面に応じて意図的指名や小集団による話し合いの場を設定する。

ICTを活用した主な学習場面

- ・アンケート結果の共有
- ・共同作業を行い、考えをまとめる場面
- ・動画視聴する場面

ICT活用の利点

- ①アンケート結果をスクリーンに提示し、視覚的に示すことにより、内容をより分かりやすくすることができる。
- ②プレゼンテーションソフトを共同編集することにより、他者の多様な考えに触れられるとともに、自分の考えを振り返りながら深めることができる。
- ③卒業生や保護者等、授業に直接参加できない人の考えを知ることができる。

1 題材 「これからの進路と学び方」

2 生徒の実態と題材設定の理由

本学級の生徒は進路意識が高く、学校生活では志望校や学習状況がよく話題になる。一方で、高校入学が目的化し、現在の学びが社会とどう結び付くか、生涯学び続ける意義まで考えが及ばない生徒も少なくない。これまで、中学1年では「自分のよさ」を他者の意見を参考に自己理解を深め、中学2年では「働くことの意義」を学び、職場体験を通して働くことの大切さを実感してきた。

本時の事前アンケートの結果では、「将来、なりたい職業はありますか」という問いに対して半数以上の生徒が、あると回答している。明確な目標をもって日々の学習に取り組んでいる生徒が見られる一方で、「みんなが高校に行くから」「とりあえず受験のために勉強している」といったように、将来の目標が定まっていない生徒も見られる。また、「そのための準備をしていることはあります」という問いに対しては、半数以上の生徒が「ない」と回答した。これらの結果から、先を見通した学び方を十分に理解できていない生徒が多いと考えられる。

そこで、中学3年の5月に実施し、これまでの学習を振り返るとともに、主体的な進路選択及び先を見通した学習方法の改善を図ることをねらいとする。

本題材では、これまでの生徒自身の学びの積み重ねを意識できるよう、キャリア・パスポートを活用し、現在の学びがこれまでの自分の努力が積み重なっていることを実感できるよう工夫する。さらに、学級での話し合いを通じて他者の考えに触れ、自己の考えを深める機会を設け、進路選択に向けた主体的な進路選択及び今後の学習改善につなげるきっかけとしたい。

3 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方	自分らしい生き方の実現に向け、現在の学習や将来の進路	将来の生き方を見通したり、現在の生活や学習を振り返る

<p>を実現していくことの意義を理解している。</p> <p>現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考え、自分らしい生き方の実現を図るために、必要な知識及び技能を身に付けている。</p>	<p>についての課題を見いだしている。</p> <p>主体的に学習に取り組み、働くことや社会に貢献すること、自己の将来について、適切な情報を収集して考え、意思決定して実践している。</p>	<p>たりしようとしている。</p> <p>働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとしている。</p>
---	--	--

4 事前の指導

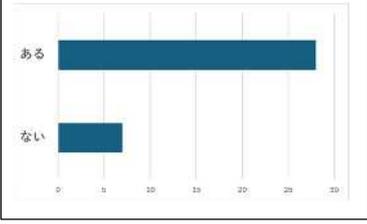
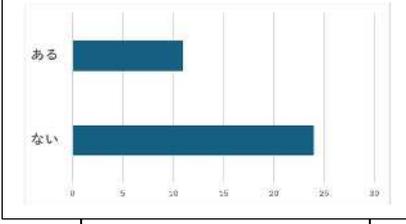
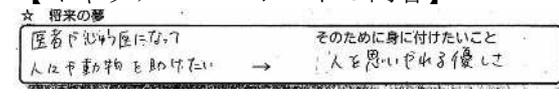
生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
<p>・事前アンケートに取り組む。</p>	<p>・「そのために準備していることはありますか」の問いについて、学習面も含めて考えるよう指示をする。</p>	<p>◎自らの考えを振り返ろうとしている。【態】(アンケート集計ツールへの記述内容)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>アンケート結果 (一部抜粋) 調査人数 35人</p> <p>【質問項目 (選択式・記述式)】</p> <p>①将来なりたい職業はありますか。</p> <p>ある (28人) ない (7人)</p> <p>②あると答えた人は、どんな職業なのか記述してください。</p> <p>医師、会社の社長、ITエンジニア、教師、消防士、漫画家、獣医、看護師 等</p> <p>③そのために準備していることはありますか。</p> <p>ある (4人) ない (31人)</p> <p>④「ある」と答えた人は、どんな準備をしているのか記述してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免許や資格が取るためには、どんな大学に行ったらよいのか調べた。 ・家族に相談した。 ・入試に向けて毎日、こつこつ勉強している。 ・新しい参考書を買った。 ・塾に行っている。 </div>		

5 本時の指導

(1)ねらい

学級での話し合いを通じて他者の考えに触れ、主体的な進路選択及び今後の学習方法の改善について自らの考えをより深めることができる。

(2)展開

段階	生徒の活動	指導上の留意点	資料	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
問題の把握 (つかむ) 5分	1 アンケート結果の集計結果やキャリア・パスポートをもとに「なりたい職業及び学習方法」について振り返る。 【生徒の発言】 ・なりたい職業が決まっている人が意外に多い。 ・職業が決まっている人が多い割には、準備をしている人が少ない。 ・何をしたらよいか分からないのでは。	・アンケート結果を提示し、本時のねらいをつかめるように指導する。	・アンケートの集計結果 	ICT活用の利点① なりたい職業がはっきりしている人が結構いるね。
	将来なりたい職業はありますか？ 	準備していることはありますか？ 		
	【キャリア・パスポートの内容】 	・キャリア・パスポートを用いて、過去の自分がどのように考えていたか、どんな未来を描いていたかを参考にする。		事例のポイント① 過去の自分がどのように考えていたかをキャリア・パスポートを用いて振り返る。
原因の追求(さぐる) 10分	2 「なりたい職業」のための準備ができていない原因について話し合う。 【生徒の発言】 ・何をしたらよいか、分からないのでは。 ・今の学習(テスト勉強等)を優先 ・塾の課題が終わらない。 ・準備する必要もないと思っている。	・事前アンケートをもとに教師が意図的に指名する。		なりたい職業のために これからの学びを改善しよう

解決策（見つける）
30分

3 なりたい職業の準備をするためにどうしたらよいかを話し合う。

事例のポイント②
話し合いや共同編集した資料を通じて様々な意見や考えに触れて、自らの考えを深めていく。

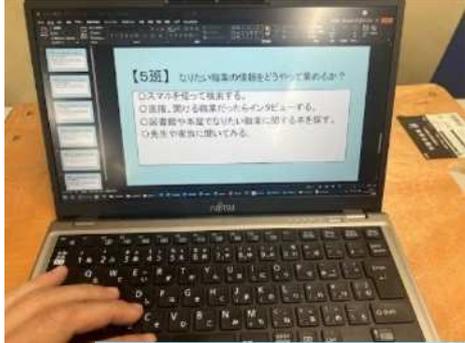
なりたい職業の情報
・職業についての情報をネットや図書館で調べ、必要な資格や免許等を知る。
・どんな学校（大学・専門・高校）に行くとよいのか、ネットで情報を集める。
・先生や家族に自分から相談する。

学習方法の改善
・1週間の学習スケジュールを用意して、計画的に進める。
・苦手な問題は積極的に先生や友達に聞きに行く。
・1冊の参考書を繰り返し使って学習する。（ノート→書き込み）
・教科書を丸写しではなく、自分で重要だと思うことを考えながら、ノートをまとめる。

・グループごとに話し合い、プレゼンテーションソフトを用いて共同で作成し、全体で共有する。

ICT活用の利点②

編 P186 指導計画の作成の留意事項(2)



【5班】 なりたい職業の情報をどうやって集めるか？
○スマホを使って検索する。
○直接、聞ける職業だったらインタビューする。
○図書館や本屋でなりたい職業に関する本を探す。
○先生や家族に聞いてみる。

ICT活用の利点③

・具体的な改善方法を考えられるよう卒業生や保護者等のインタビュー動画を提示する。



・社会に出て、色々な資格を取得する時に中学校で学んだことが生きました。自分に合った学び方を中学校時代に身に付けられてよかったと思っています。中学校の学習は、知識の習得だけでなく、大人になってからも使える学習方法を身に付けるものだと思います。

個人目標の意思決定（決める）

4 話し合ったことを参考にこれからの学習について改善していきたいことについて個人目標を決め、伝え合う。

・個人目標を決める際に、解決策で話し合った具体的な方法を参考にするよう指示をする。

・学習カード

◎自己の将来について、話し合ったことを生かして、今後の学び方について具体的な意思決定をしている。【思・判・表】
(学習カード)

5分	<p>私の目標は、苦手な分野を克服するために1週間のスケジュールを立てて、重点的に取り組みます。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な学習方法等になるよう、グループごとに互いの目標を話し合う時間を設ける。 	<p>事例のポイント③ 班ごとに各自の考えを伝え合い、アドバイスし合えるようにする。アドバイスを送り合うことで、自分の考えを深めることが期待できる。</p>
----	--	---	--

6 事後の指導

生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
<ul style="list-style-type: none"> 自ら意思決定した活動が達成できるように取り組む。 2学期終了時に、自ら意思決定した活動について振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 帰りの会等の時間に、活動の達成状況等を振り返る時間を設ける。 振り返りによって成果と課題に気付き、これからの生活について改めて考えられるように声掛けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の立てた目標に粘り強く取り組もうとしている。 <p>【態】(ワークシート)</p> <p style="text-align: right;">編 P186 指導計画作成の留意事項(4)</p>

授業で意思決定した内容を実践し、学びに対する考えがどのように変容しているかについて見取り、三者面談等の際に生徒や家庭に伝える。

これからの進路と学び方

名前

1 先輩・保護者のインタビュー動画を見て考えたこと

・中学校で身に付けた学習方法が、太刀になってからも役に立っていることに驚いた。私は、覚えるだけで精一杯なので、1トのまとめ方がなご工夫したいと思った。

2 これからの目標

【情報の収集】

- ・小学校の時からずっとなりたいと思ってる「獣医」について、どうやったらなれるのか、どんな学部に行く必要があるのかなど、ネットや図書館で具体的に調べる。
- ・近所の動物病院に行った際にも聞いてみたいと思う。

【学習方法の改善】

- ・社会や理科の勉強は、重要な言葉のみ、暗記するために繰り返して1トに書いていたが、今後は、学習の流れや全体を理解できるようにイラスト等を使いながら、工夫して1トをまとめ、自分なりの1トを作っていく。
- ・入試科目の1トを年間5冊以上、作る。

3 2週間の取組を振り返って

- ・ネットで獣医になるために必要なことを言われたら、勉強に対するやる気が出てきた。
- ・自分なりの1トを作成しているが、上手くまとめられていない教科もある。(国語)
今後は、友達に1トを見せてもらって、もっと工夫して効率よく勉強してきたい。

生徒の振り返りに対して、教師が励ましのコメントを入れたり、声かけをしたりして生徒の取り組みへの継続化を図る。

8 指導上の留意点

- 本実践は、学校で作成する年間指導計画に基づき、意図的かつ計画的に進めている。年度末には、各学年の実態に応じて年間計画を見直し、系統的な指導ができるよう改善を図っている。
- キャリア・パスポートの活用にあたっては、生徒がどの箇所や内容を確認すべきかを明確にし、指導する。
- また、卒業生や保護者に撮影を依頼する際には、次の点を話していただくよう留意する。
 - ・中学校での学びが現在の自分にどのように繋がっているか
 - ・当時は気付かなかったが、今振り返って「こうしておけばよかった」と思うこと
- 授業では、意思決定した内容をグループで話し合い、その後再考する時間を設ける。こうした過程を通じて、生徒が他者の考えに触れ、自分の考えを深める機会を保障する。
- 本実践においては、「主体的に学習に取り組む態度」に重点をおく。本実践を通して、生徒一人一人が学ぶ意義を改めて考え、学級全体で学ぶ意欲を高め、互いに切磋琢磨する雰囲気醸成することを目指している。

9 板書例

これからの進路と学び方

つかむ

将来やりたい職業はありますか？

準備していることはありますか？

なりたい職業は決まっても、準備できていない人が多い

なりたい職業のためにこれからの学びを改善しよう

見つける

これからの学習方法の改善

職業の情報

- ・職業についての情報をネットや図書館で調べ、必要な資格や免許等を知る。
- ・どんな学校(大学・専門・高校)に行くといのか、ネットで情報を集める。

学習方法

- ・1週間の学習スケジュールを用意して、計画的に進める。
- ・苦手な問題は積極的に先生や友達に聞きに行く。
- ・1冊の参考書を繰り返し使って学習する。(ノート→書き込み)
- ・教科書を丸写しではなく、自分で重要だと思ふことを考えながら、ノートをまとめる。

先輩からのメッセージ

さぐる

準備ができていない原因

- ・何をしたらよいか、分からない。
- ・テスト勉強に追われている。
- ・学校や塾の宿題などやることが多い。
- ・そもそも意識していないのでは。

決める

今後の目標

職業の情報を集める

学習方法の見直し

学び方を身に付けることが大切